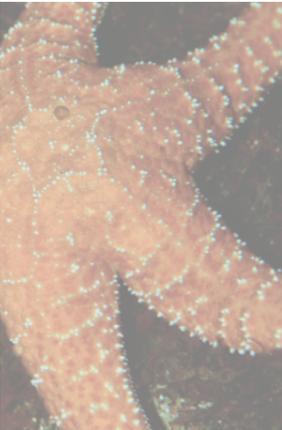
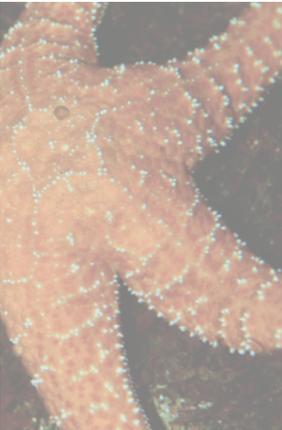


水族園では、子どもたちの発達段階や学年に応じて、同じテーマでもねらいや内容が異なるプログラムを用意しています。どのプログラムを選べばいいのかわからない、という場合はスタッフにご相談ください。またメニューにないプログラムについてもご希望があれば、相談のうえ、お受けします。

利用の方法については、P.25「団体プログラムの利用方法」をご覧ください。

1. 団体プログラムの活用 対象別団体プログラム一覧表

		磯の生き物	生き物の形とくらし	水辺の生き物	海にくらす鳥	マグロ	食べる	フィールドプログラム
幼児 (4~6歳) 「したしむ」	タイトル ねらい ●場所 ●人数 ●所要時間	ウニってなあに? 人間と姿・形が大きく異なるウニですが、あしや口もあって、うちもします。ウニの体のつくりや動きを映像でみたり、まねっこをしたりしながら、ウニに親しみます。	さかなのかたちいろいろ 海にはさまざまな魚がくらししており、形もいろいろ。長細い魚、ぺちゃんこの魚、ラグビーボールのような形の魚。いろいろな形やくらしをまねて魚に親しみます。	カエルってなあに? カエルをみたことある? 長い後ろあし、大きな口、ひっこめることができる目。ユニークな体のつくりや動きを映像でみたりクイズに挑戦しながら、カエルに親しみます。	あれ、ペンギンかな? ペンギンを入口に、同じように海にくらす鳥、ウミガラスやエトビリカに注目。映像をみたりクイズに挑戦しながら、ペンギンとの違いを探します。	マグロってなあに? マグロはどんな魚かな? 広い海を泳ぎ続けてくらししているマグロの体のつくりや泳ぎを映像でみたり、まねっこをしたりしながら、マグロに親しみます。	おすしだいすき! どんなお寿司が好き? いろいろな海の生き物がお寿司になっています。水族園でみられるマグロ・タコなどを映像でみながら、その生き物の特徴を楽しく学びます。	ひがたで あそぼう! 葛西海浜公園の「西なぎさ」で遊びます。潮がひいてあらわれる干潟で、砂や泥を掘ってカニや二枚貝のなまかをさがし、観察し、干潟の生き物に親しみます。
	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分
小学校 1・2年 「感じる」	タイトル ねらい ●場所 ●人数 ●所要時間	さがせ! ウニのひみつ ウニって知ってる? 映像をみながら、ムラサキウニの体のつくりや動きを観察し、そのくらしを学びます。ウニもちゃんと「生きていること」を実感します。	さがせ! いろんな魚 海にはいろいろな形の魚がくらししています。マグロ、ウツボなどを映像を使って観察し、クイズやまねっこなどをしながら、形とくらしの関係を楽しく学びます。	さがせ! カエルのひみつ カエルのユニークな体のつくりや鳴き声、オタマジャクシからの変態を、映像や生体を観察しながら学びます。また、カエルを通じて身近な水辺への関心につなげます。	さがせ! ペンギンのひみつ 「ペンギンなぜかわいいのか?」を入口に、海でくらす鳥、ペンギンのひみつを紹介します。水中でのくらしに都合の良いしくみなど、ペンギンのすごさを実感します。	さがせ! マグロのひみつ マグロのひみつとは? 体の形やひれ、泳ぎを映像を使って観察し、外洋で泳ぎ続けるくらしのための工夫をさがります。水槽でのマグロの観察がおもしろくなります。	おすしいただきます! お寿司の材料の多くは海の生き物。マグロ・タコなどの体の特徴を映像で紹介し、お寿司になるまでの過程を学び、「いただきます」の意味を知ります。	ひがたたんけん隊 葛西海浜公園の「西なぎさ」を探索します。潮がひいた干潟を歩き、カニや二枚貝、ゴカイなどをさがし、つかまえて観察します。干潟の生き物さがしの楽しさを体験します。
	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分
小学校 3・4年 「知る」	タイトル ねらい ●場所 ●人数 ●所要時間	ウニの形 磯でくらすムラサキウニ。トゲが動くこと、あしがあること、口も肛門もあることを、生体や映像で確認し、体のつくりが磯でのくらしに都合がよいことを学びます。	いろいろな魚の形とくらし 海の魚のいろいろな形は、それぞれの生息環境やくらしと深く関連しています。いくつかの魚の形とくらしを映像を使って観察し、形とくらしの関係を学びます。	身近な水の生き物のくらし かつて身近だったカエルとイモリ。その体のつくりやくらしを映像をみながら学びます。どちらも数を減らしている現状を紹介し、身近な水辺への関心につなげます。	ペンギンのからだとくらし ペンギンってどんな生き物? くちばし、つばさ、あしなど、体のつくりと特徴を映像などで観察し、それぞれがペンギンのくらしに都合がよくできていることを学びます。	マグロの形 マグロの泳ぎ 外洋をエサを求めて泳ぎ続けてくらすクロマグロ。体のつくりや泳ぎを映像を使って観察し、外洋でのくらしとの関係を学びます。水槽での観察ポイントを紹介します。	おいしい海のめぐみ 多くの海の生き物を私たちは食べています。それらのくらしを学ぶとともに、映像などを使って学びます。また、魚の方法や日本の食文化についても紹介します。	干潟で生き物たんけん 葛西海浜公園の「西なぎさ」で生き物をさがし、つかまえます。干潟にはさまざまな生き物がくらししていること、底質が違うとみられる生き物が異なることを学びます。
	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分
小学校 5・6年 「考える」	タイトル ねらい ●場所 ●人数 ●所要時間	じっくり観察 ウニ・ヒトデ・ナマコ ウニやヒトデなどの体のつくりや動きを生体で観察し、くらしとの関連性を学びます。またそれぞれの共通点を発見し、同じなま(棘皮動物)であることを紹介します。	このくらしに この形あり 魚の体の形やつくりがさまざまであること、映像などで観察し、その形やつくりがどのようなくらしや環境に適しているかを考えます。	身近な水辺の生き物と人のくらし カエルとメダカの体のつくりや一生を生体や映像などを使って学び、それらがくらす環境について紹介します。また、その環境に人の生活が与えた影響を考えます。	空を飛ぶ? 飛ばない? 飛ばないペンギンと飛ぶウミガラス。よく観察すると、飛ぶ・飛ばないに関連したさまざまな体の違いが発見できます。両種の海での生活への適応について考えます。	マグロの泳ぎ 魚のくらし マグロの体のつくりや泳ぎを映像を使って観察し、それらが外洋でのくらしに適していることを推察します。さらに、他の魚と比較し、魚の多様性の理解へつなげます。	海の幸は世界から 私たちはさまざまな海の生き物を食べています。それらのくらしを学ぶとともに、マグロやタコなどが世界中の意外な場所から輸入されている現状について考えます。	干潟ってすごい!! 葛西海浜公園の「西なぎさ」で生き物を観察します。干潟という環境に適応した多様な生き物がくらすことを実感し、さらに実験をとおして、干潟の役割を学びます。
	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分
中学校 「考える、行動する」	タイトル ねらい ●場所 ●人数 ●所要時間		水族園で魚類観察 「きれいだな、かわいいな」だけで終わるのはもったいない。「身を守る」「食べる」などの視点で一緒に魚を観察し、気づくことの楽しさを体験してもらいます。	ずっとカエルとくらしたい かつては身近な生き物であったカエル、イモリ、メダカを取り上げ、これらがくらす環境を観察し、日本の水辺の現状と保全の取り組みについて紹介します。	水中を飛ぶ鳥たち 生息環境の異なるウミガラスとペンギンを通して、水中生活に適した形と進化について学び、その後の水槽でのペンギンとウミガラスの観察、理解を深めます。	水族園マグロ学 マグロの形態・生態が外洋という環境に適していることを理解し、水槽のマグロの観察を深めます。また、漁法や養殖、消費など日本人との関わりも紹介します。	大好きなマグロを食べ続けるために このままだとマグロが食べられなくなる!? クロマグロの生態を学んだ後、資源量の減少や資源回復の取り組みなど、マグロを取り巻く問題について一緒に考えます。	干潟ってどんなところ? 干潟の生き物がその環境に適応した体のつくり、くらしを理解してもらいます。また、実験などを通じて生態系における干潟の役割やその保全について考えます。
	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分
高校~一般 「考える、行動する」	タイトル ねらい ●場所 ●人数 ●所要時間		はじめての魚類観察学 「泳ぐ」「食べる」「身を守る」「繁殖」など、水族園で推奨する魚類の観察の視点で一緒に魚を観察し、発見することの楽しさを体験してもらいます。	日本の水辺 メダカ、イモリ、カエルなど水辺の代表的な生き物を取り上げ、これらの生態やくらししている環境について学び、日本の水辺の現状とこれからのくらしについて一緒に考えます。	ペンギン、そのくらし 日本では大変人気のあるペンギン。かわいだけではいけないペンギンの本当の姿を紹介します。また、ペンギンのくらし環境とその現状について考えます。	はじめてのマグロ学 我々日本人にとってもなじみ深いマグロ。生きているマグロを観察し、おいしいだけではない、生き物としてのマグロの本当の魅力を発見します。	マグロと日本人 マグロは私たち日本人にとって、とても身近な魚です。現在、絶滅の恐れのあるクロマグロの漁獲量の約90%を日本人が消費しています。マグロを取り巻く問題について一緒に考えます。	東京湾の干潟を知る 干潟の生き物とその環境を観察し、また、実験などを通じて生態系における干潟の役割についての理解を深めるとともに、東京湾の干潟の現状やその保全について考えます。
	●スタッフにご相談ください	●スタッフにご相談ください	●スタッフにご相談ください	●スタッフにご相談ください	●スタッフにご相談ください	●スタッフにご相談ください	●スタッフにご相談ください	●スタッフにご相談ください
その他	タイトル ねらい ●場所 ●人数 ●所要時間	この夏 磯へ行こう! 全学年対象 磯に行ったことがありますか? ヒトデやウニなど多様な生き物がくらす磯での遊び方を、水族園の「渚の生物」水槽で学びます。臨海学校の事前学習としてもどうぞ。	ふれて観察 特別支援学校対象 さまざまな障がいがある方のためのプログラムです。ヒトデやナマコ、ヤドカリなどを、水族園の「渚の生物」水槽で学びます。臨海学校の事前学習としてもどうぞ。	メダカの飼育 小学校5年 教室でのメダカの飼育方について紹介するとともに、そこからみえるメダカのくらしや生息環境、さらに放流などメダカを取り巻く問題について学びます。	ペンギン水槽前ガイド 全学年対象 水槽のペンギンを観察しながら、水中での生活に適した鳥の体のつくりとくらしについて理解を深めます。短時間のガイドです。 ※発達段階ごとに対応します	マグロ水槽前ガイド 全学年対象 マグロってどんな魚? どうやって泳ぐの? 水槽前でマグロを観察しながら、体のつくりやくらしを学びます。短時間のガイドです。 ※発達段階ごとに対応します		水族園で川遊び 小学校3~6年 園内の「水辺の自然・流れ」(人工的な川)に入ります。生き物をさがし、つかまえる体験をとおして、川遊びの楽しさを実感してもらいます。 ※濡れてもいい靴など川に入る準備が必要です。
	●水槽前 & レクチャー ルーム ●最大35名程度 ●30~40分	●水槽前 & レクチャー ルーム ●最大35名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●水槽前 ●最大35名程度 ●15分	●水槽前 ●最大35名程度 ●15分	●水槽前 ●最大35名程度 ●15分	●「水辺の自然・流れ」 ●最大35名程度 ●1時間	

1. 団体プログラムの活用

幼児向け団体プログラム

「したしむ」 保育園児・幼稚園児向けのプログラムです。クイズやまねっこをとおして生き物に親しみます。いずれも水族園の見学が楽しくなるプログラムです。



ウニってなあに？

磯の生き物

私たち人間と姿・形が大きく異なるウニですが、ちゃんとあしがあって、口もあって、うんちもします。ウニの体のつくりや動きを映像でみたり、まねっこをしたりしながら、ウニに親しみます。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30～40分

導入 : わたしはだれ？ (ウニの特徴を確認)

展開 : ウニのあしや口、おしりの穴をさがしてみよう

(ウニと人間をくらべながら体のつくりを知る)

まとめ: ウニのまねっこやクイズ (振り返り)



さかなのかたちいろいろ

生き物の形とくらし

海のなかにはさまざまな魚がくらししており、その形もいろいろです。長細い魚、ぺちゃんこの魚、ラグビーボールのような形の魚。いろいろな形の魚とそのくらしを映像をみたり、まねっこをしながら、魚に親しみます。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30～40分

導入 : この魚はなにかな？ (シルエットクイズ)

展開 : 魚をいろんな方向から見てみよう (形のおもしろさを知る)

魚のくらしをみてみよう (形だけでなく、くらしも多様なことを知る)

まとめ: この形にどんな良いことがあるのかな (形とくらしの関連性に気づく)



カエルってなあに？

水辺の生き物

カエルをみたことあるかな？ 長い後ろあし、大きな口、ひっこめることができる目。ユニークな体のつくりや動きを映像でみたり、クイズに挑戦しながら、カエルに親しみます。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30～40分

導入 : カエルの〇×クイズ (カエルの特徴の確認)

展開 : カエルをみてみよう

(生体を使って体のつくりや動きの確認)

まとめ: カエルのまねっこ (振り返り)



あれ、ペンギンかな？

海にくらす鳥

ペンギンを入口に、同じように海にくらす鳥、ウミガラスやエトピリカに注目します。映像をみたり、クイズに挑戦しながら、ペンギンとの違いをさがします。ペンギンやウミガラスの観察が楽しくなります。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30～40分

導入 : ペンギンはどれ？

展開 : ペンギンとウミガラス・エトピリカの似ているところ、

違うところをさがそう (それぞれの体の特徴の確認)

まとめ: 飛ぶ？ 飛ばない？ (形とくらしの関連性に気づく)



マグロってなあに？

マグロ

マグロはどんな魚かな？ 広い海を泳ぎ続けてくらししているマグロの体のつくりや泳ぎを映像でみたり、まねっこをしたりしながら、マグロに親しみます。水槽でのマグロの観察が楽しくなります。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30～40分

導入 : マグロはどんな海にくらししているの？ (生息環境の確認)

展開 : マグロの体の形は？ どこを使って泳いでいる？ ひみつのヒレを

さがしてみよう (マグロの体のつくりを知る / 泳ぎをまねる)

まとめ: マグロ〇×クイズ (振り返り / 水槽観察への誘導)



おすしだいすき！

食べる

どんなお寿司が好きかな？ いろいろな海の生き物がお寿司になっています。水族園で見られるマグロ・タコ・ウニの生きている姿を映像でみながら、それぞれの生き物の特徴やくらしを楽しく学びます。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30～40分

導入 : このお寿司はなんだ？ (お寿司になっている生き物を確認)

展開 : お寿司のくらし (それらの生き物のくらしを知る)

まとめ: お寿司の水槽紹介 (水槽観察への誘導)



ひがたであそぼう！

フィールドプログラム

葛西海浜公園の「西なぎさ」で遊びます。潮がひいてあらわれる干潟で、砂や泥を掘ってカニや二枚貝のなかまをさがし、観察し、干潟の生き物に親しみます。

📍葛西海浜公園「西なぎさ」 🧑最大35名程度 ⌚1時間以上 (応相談)

※大潮の日の潮がひく時間に限ります

導入 : 干潟を歩こう (干潟を感じる)

展開 : 生き物をさがしてみよう (干潟での生き物のさがし方を学ぶ)

まとめ: どんな生き物がいたかな (干潟の生き物に親しむ)



1. 団体プログラムの活用

小学校1・2年向け団体プログラム

「感じる」 小学校1・2年向けのプログラムです。生き物の体のつくりや動きを観察し、「生きていること」を実感します。いずれも水槽での観察が楽しくなるプログラムです。



さがせ! ウニのひみつ 磯の生き物

ウニって知ってる? 映像をみながら、ムラサキウニの体のつくりや動きを観察し、そのくらしを学びます。ウニもちゃんと「生きていること」を実感します。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30~40分

導入 :ウニは海のどこにいるの?(生息環境の確認)

展開 :ウニのあしや吸盤、口やおしりの穴をさがそう(体のつくりを確認)
ウニは何を食べているのかな? 敵はだれ?(くらしを知る)

まとめ:ウニのおさらいクイズとトゲクイズ
(振り返り/水槽のウニ類の観察へ誘導)



さがせ! カエルのひみつ 水辺の生き物

カエルのユニークな体のつくりや鳴き声、オタマジャクシからの変態を、映像をみたり、生体を観察したりしながら学びます。また、カエルが減っていることを知ってもらい身近な水辺への関心につなげます。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30~40分

導入 :カエルクイズ(カエルの体の特徴を確認)

展開 :どのカエルの鳴き声かな(カエルの声の多様性を知る)
オタマジャクシからカエルへ(カエルの変態過程を知る)

まとめ:カエルが減っている?(減っていることとその理由を学ぶ)



さがせ! いろんな魚 生き物の形とくらし

海にはいろいろな形の魚がくらしています。マグロ、ウツボ、カレイの体の形とくらしを映像を使って観察し、クイズやまねっこなどをしながら、形とくらしの関連性を楽しく学びます。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30~40分

導入 :この魚はなにか?(シルエットクイズ)

展開 :魚の形をいろんな方向から見よう(形の多様性を知る)

この魚はどんなところでくらしているかな?(形とくらしの関連性を学ぶ)

まとめ:いろいろな形の魚の紹介(多様な魚の観察へ誘導)



さがせ! ペンギンのひみつ 海にくらす鳥

「ペンギンはなぜかわいいのか?」を入口に、海でくらす鳥、ペンギンのひみつを、映像を使って観察します。体の形やつばさなど、水中でのくらしに都合の良いくみに気づき、ペンギンのすごさを実感します。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30~40分

導入 :ペンギンってどんな生き物?(ペンギンのイメージを確認)

展開 :ペンギンはなぜかわいいか?(ペンギンの立ち姿の意味を知る)
ペンギンの3つのひみつ(ペンギンの体の特徴とその意味を学ぶ)

まとめ:ペンギンにはひみつがいっぱい(水槽での観察へ誘導)



さがせ! マグロのひみつ マグロ

マグロはどんなひみつを持っている? マグロの体の形やひれ、泳ぎを映像を使って観察し、外洋で泳ぎ続けるくらしのためのひみつをさがります。水槽でのマグロの観察がおもしろくなります。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30~40分

導入 :マグロはどれかな?(シルエットクイズ)

展開 :マグロはどんな海でくらしているの?(生息環境の確認)

体の形、泳ぎ、隠れたひれ。マグロのひみつをさがそう(体のつくりとくらしの関連性を学ぶ)

まとめ:ひみつのおさらい(振り返り/水槽での観察へ誘導)



ひがた たんけん隊 フィールドプログラム

葛西海浜公園の「西なぎさ」を探検します。潮がひいてあらわれる干潟を歩きながら、カニや二枚貝、ゴカイのなかまなどをさがし、つかまえ、観察します。干潟での生き物探しの楽しさを体験します。

📍葛西海浜公園「西なぎさ」 🧑最大35名程度 ⌚1時間以上(応相談)

※大潮の日の潮がひく時間に限りです

導入 :干潟を歩こう(干潟を感じる)

展開 :生き物を探して、つかまえてみよう

(体験を通じて生き物の行動やくらしを学ぶ)

まとめ:どんな生き物がいたかな(干潟の生き物の観察)



おすしいたadakimasu! 食べる

お寿司の材料の多くは海の生き物。お寿司になる前の姿もくらしもいろいろです。マグロ・タコ・ウニの体の特徴やくらしを、映像で学び、お寿司になるまでの過程を学びます。「いただきます」の意味を知ります。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30~40分

導入 :お寿司になる前はどれだ?(お寿司になっている生き物を確認)

展開 :お寿司になる前のくらし(それらの生き物のくらしを知る)

どうやってお寿司になるの?(お寿司になるまでの過程を知る)

まとめ:「いただきます」と「ごちそうさま」の意味

お寿司の水槽紹介(水槽での観察への誘導)

フアインスポッテッドジョーフィッシュ



1. 団体プログラムの活用

小学校3・4年向け団体プログラム

「知る」小学生3・4年向けのプログラムです。観察をととして生き物の体のつくりや動きを知り、それらが生息環境や暮らしと深く関わっていることを学びます。水槽での観察が学びにつながるヒントを紹介します。



ウニの形

磯の生き物

磯でくらすムラサキウニ。トゲが動くこと、あしがあること、口も肛門もあることを、生体や標本を観察したり、映像をみたりして確認します。さらに体のつくりが磯でのくらしに都合がよいことを学びます。

■レクチャールーム ■最大80人程度 ⓐ30~40分

導入 : ムラサキウニはどこでくらすしているの?(生息環境の確認)

展開 : ムラサキウニを観察しよう(生体や標本の観察)

観察カードをつくらう(体のつくりとくらしの関連性を学ぶ)

まとめ: 水槽でのウニ類の観察へ誘導

(ウニの形とくらしの多様性を知る)



身近な水の生き物のくらし

水辺の生き物

かつて身近だったカエルとイモリ。そのユニークな体のつくりや水辺と陸上を行き来するくらしを映像をみながら学びます。どちらも数を減らしている現状を紹介し、身近な水辺への関心につなげます。

■レクチャールーム ■最大80人程度 ⓐ30~40分

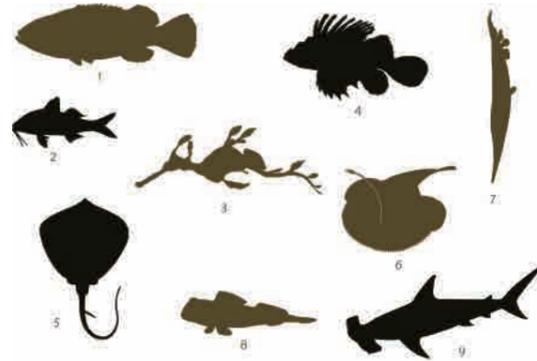
導入 : カエルとイモリクイズ(両種の相違を確認)

展開 : カエルとイモリ、どんな生き物かな?

(体のつくりの特徴を知る) / (水辺と陸上を行き来するくらしを知る)

まとめ: カエルやイモリをみたことある?

(危機的な現状やその理由を学ぶ)



いろいろな魚の形とくらし

生き物の形とくらし

海のなかにはいろいろな形の魚がくらすしており、その形はそれぞれの生息環境や暮らしと深く関連しています。いくつかの魚の形とくらしを映像を使って観察し、形とくらしの関連性を学びます。

■レクチャールーム ■最大80人程度 ⓐ30~40分

導入 : 魚はどれ?(魚の形態の特徴、陸上動物との違いを確認)

展開 : この形の魚は、どこでどんなくらしをしているのかな

(形とくらしの関連性を学ぶ)

まとめ: ユニークな形の魚をさがして、そのくらしを想像しよう

(形からくらしを推測)



ペンギンのからだとくらし

海にくらす鳥

ペンギンはどんな生き物かな? くちばし、つばさ、あしなど、ペンギンの体のつくり一つ一つとその特徴を映像などで観察します。そして、それぞれがペンギンのくらしに都合がよくできていることを学びます。

■レクチャールーム ■最大80人程度 ⓐ30~40分

導入 : ペンギンの絵を完成させよう!(体のつくりを確認)

展開 : ペンギンはなんの仲間?(鳥としての特徴を知る)

海でくらすペンギンと空を飛ぶ鳥の違いは?

(体のつくりの特徴と海でのくらしの関連性を学ぶ)

まとめ: ペンギンと似ている魚は?(水槽での観察へ誘導)



マグロの形 マグロの泳ぎ

マグロ

外洋をエサを求めて泳ぎ続けてくらすクロマグロ。クロマグロの体のつくり(体の形やひれ)や泳ぎを映像を使って観察し、外洋でのくらしとの関連性を学びます。水槽での観察のポイントを紹介します。

■レクチャールーム ■最大80人程度 ⓐ30~40分

導入 : クロマグロはどれかな?(クロマグロの体の形の確認)

展開 : クロマグロはどんなくらしをしているのかな?(生息環境とエサを知る)

体の形や泳ぎをみてみよう(形とくらしの関連性を学ぶ)

まとめ: ほかの魚をクロマグロとくらべてみよう(水槽での観察へ誘導)



干潟で生き物たんけん

フィールドプログラム

葛西海浜公園の「西なぎさ」で生き物を探し、つかまえます。何もいないように見える干潟にもさまざまな生き物がくらししていること、底質が違くとみられる生き物が異なることを学びます。

■葛西海浜公園「西なぎさ」 ■最大35名程度 ⓐ1時間以上(応相談)

導入 : 干潟にはどんな生き物があるかな?

展開 : 干潟にもいろいろな場所がある(底質の違いを感じる)

生き物を探して、つかまえよう

(体験を通じて生き物の行動やくらしを学ぶ)

まとめ: どの場所にどんな生き物がいたかな?

(底質による生き物の違いに気づく)



おいしい海のめぐみ

食べる

おせちやお寿司、多くの海の生き物を私たちは食べています。それらの生き物の形態やくらしを、映像などを使って学びます。また、漁の方法や豊かな海の恵みを利用する日本の食文化についても紹介します。

■レクチャールーム ■最大80人程度 ⓐ30~40分

導入 : この料理の材料はなに?(私たちの食べている海産物の確認)

展開 : 「海の恵み」のくらし(それらの生き物のくらしを知る)

どうやってつかまえるの?(漁の方法を知る)

まとめ: 豊かな海の恵みがある日本(日本の食文化を知る)

お寿司の水槽紹介(水槽での観察への誘導)

ペンギンチャクのなかま



1. 団体プログラムの活用

小学校5・6年向け団体プログラム

「考える」 小学校5,6年向けのプログラムです。生き物の体のつくりとくらす環境との関係を推察しながら学びます。他の種と比較することで生き物や環境の多様性の理解へつなげます。



じっくり観察 ウニ・ヒトデ・ナマコ 磯の生き物

磯にくらすウニとヒトデ、ナマコの体のつくりや動きを生体を使ってじっくりと観察し、くらしとの関連性を学びます。また比較して共通点を発見し、じつは棘皮動物という同じなかまでであることを知ります。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30~40分
導入 :ウニ・ヒトデ・ナマコってどこでどんなくらしをしているの?
展開 :ウニ・ヒトデ・ナマコをじっくりと観察(体のつくりを確認)
それぞれの生息環境やくらしを推察(適応を学ぶ)
まとめ:ウニ・ヒトデ・ナマコ どこが違う?どこが同じ?(分類理解)



身近な水辺の生き物と人のくらし 水辺の生き物

カエルとメダカの体のつくりや一生を生体や映像などを使って学び、それらがくらす環境について知ります。そして、その環境が人の生活によりどのように変わったかを考えます。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30~40分
導入 :カエルとメダカの観察(体のつくりの確認)
展開 :カエルとメダカはどんなところにくらししている?
(両種がくらしにくるために必要な環境を知る)
水辺の環境はどう変わった?(人の生活の影響)
まとめ:カエルとメダカのくらす環境をみよう(水槽での観察へ誘導)



このくらしにこの形あり 生き物の形とくらし

魚の体の形やつくりがさまざまであることを映像などで観察し、その形やつくりがどのようなくらしや環境に適しているかを考えます。その後の水槽での観察を楽しく、効果的にします。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30~40分
導入 :これぜんぶ魚?(魚の形の多様性を知る)
展開 :いろいろな魚の形のくらし(形とくらしの関連性を知る)
この魚はどこでくらししている?(形からくらしと環境を推測)
まとめ:水族園でみられるいろいろな魚(水槽での観察へ誘導)



空を飛ぶ? 飛ばない? 海にくらす鳥

飛ばないペンギンと飛ぶウミガラス。どちらも海でのくらしに適した鳥ですが、じっくりと観察すると、飛ぶ・飛ばないに関連したさまざまな違いが発見できます。両種を比べ、水中への適応について考えます。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30~40分
導入 :ペンギンとウミガラスはどんな鳥?(体のつくりの確認)
展開 :ペンギンとウミガラスのくらし(海でのくらしを知る)
ペンギンとウミガラスどこが違う?(体のつくりとくらしの関連性を学ぶ)
まとめ:なぜ飛ばない?なぜ飛ぶ?(鳥の多様性について考える)



マグロの泳ぎ 魚のくらし マグロ

マグロの体のつくりや泳ぎを映像を使って詳細に観察し、それらが外洋でのくらしに適していることを推察しながら学びます。さらに、他の魚の体のつくりや泳ぎと比較し、魚の多様性の理解へつなげます。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30~40分
導入 :マグロはどんな海にいるかな?(生息環境の確認)
展開 :外洋でのくらしに都合のよい体のつくりや泳ぎを詳細に観察
(適応について学ぶ)
まとめ:他の魚の体のつくりとくらしの関係をみてみよう(水槽での観察へ誘導)



干潟ってすごい!! フィールドプログラム

葛西海浜公園の「西なぎさ」で生き物を観察します。干潟には干潟という環境に適した多様な生き物がくらすことを実感し、さらに実験を通じて、干潟の役割を学びます。

📍葛西海浜公園「西なぎさ」 🧑最大35名程度 ⌚1時間以上(応相談)
導入 :干潟ってどう環境かな?
展開 :干潟の生き物を観察しよう
(干潟に適した体のつくりを学ぶ)
アサリの浄化実験
まとめ:干潟はなぜ大切なのか?(干潟の役割について考える)



海の幸は世界から 食べる

私たちはさまざまな海の生き物を食べています。それらの生き物のくらしを学ぶとともに、マグロやタコなどが世界中の意外な場所から輸入されている現状について考えます。

📍レクチャールーム 🧑最大80人程度 ⌚30~40分
導入 :この料理の材料はなに?
展開 :この「海の幸」はどんなくらしをしているの?
(多様な海の生き物のくらしを知る)
マグロやタコはどこからやってくる?
(水産物の産地や輸入の現状を知る)
まとめ:「海の幸」の今を考える

ヤマブキペラ



1. 団体プログラムの活用

その他の団体プログラム

他にも中学生、高校生から一般向けの団体プログラム、また、全学年向けに発達段階に応じた水槽前や屋外展示前での短時間のガイドやフィールドプログラム、障がいのある子ども向けのプログラムなど多様なメニューを用意しています。メニューにないものもご相談ください。



この夏 磯へ行こう!

全学年対象

磯に行ったことがありますか？ ヒトデやウニなど、いろいろな生き物がくらす磯での遊び方を、園内の「渚の生物」水槽で学びます。臨海学校の事前学習としても活用できます。

血水槽前&レクチャールーム 最大35人程度 30~40分

導入：磯ってどんなところ？(水槽で磯の環境を確認)

展開：磯で生き物をさがしてみよう。観察してみよう。

(磯での生き物のさがし方や観察方法を学ぶ)

まとめ：磯に行く前に(磯で楽しく遊ぶための準備や心構えを知る)



マグロ水槽前ガイド

全学年対象

マグロってどんな魚？ どうやって泳ぐの？ 水槽前でマグロを観察しながら、体のつくりや暮らしを学びます。短時間のガイドです。

血水槽前 最大35人程度 15分

導入：マグロはどんな海にくらしているの？(生息環境の確認)

展開：マグロのひみつのひれをさがしてみよう

(体のつくりと暮らしの関連性を学ぶ)

まとめ：他の魚とくらべてみよう(水槽での観察へ誘導)



メダカの飼育

小学校5年対象

教室でのメダカの飼い方について紹介するとともに、飼い方からみえるメダカの暮らしや生息環境、さらにメダカを取り巻く問題について学びます。

血レクチャールーム 最大80人程度 30~40分

導入：メダカはどこにくらしている？

(メダカの暮らしと生息環境について知る)

展開：メダカはどう飼えばいい？(メダカの飼い方を学ぶ)

まとめ：メダカを取り巻く問題



水族園で魚類観察

中学校〜一般

「きれいだな、かわいいな」だけで終わってしまうのはもったいない。「視点」をもって魚を観察すると、おもしろい発見がたくさんあります。映像を使い、「身を守る」「食べる」などの視点で一緒に魚を観察します。

血レクチャールーム 最大80人程度 30~40分

導入：どれも魚？(魚の形や色の多様性を確認)

展開：「身を守る」「食べる」という視点で魚を観察

まとめ：他にもある観察の視点(水槽での観察へ誘導)



水族園で川遊び

小学校3~6年生

園内の「水辺の自然・流れ」(人工的な川)に入ります。生き物を探し、つかまえる体験を通じて、川遊びの楽しさを実感してもらいます。

※濡れても良い靴など川に入る準備が必要です。

血「水辺の自然・流れ」 最大35人程度 60分

導入：川に入る前に(川に入る準備や心構えを知る)

展開：川で遊ぼう(川で生き物をつかまえ、観察する)

まとめ：どんな生き物がいたかな(川の生き物の観察)



大好きなマグロを食べ続けるために

中学生〜一般

このままだとマグロが食べられなくなる!? クロマグロの暮らしや生活史を学んだ後、資源量が減っていることや資源回復の取り組みなど、マグロを取り巻く問題について一緒に考えます。

血レクチャールーム 最大80人程度 50分

導入：クロマグロの暮らしと生活史

展開：マグロ資源の現状について

マグロ資源回復の取り組みについて

まとめ：一緒に考える「マグロを食べ続けるために」



ふれて観察

特別支援学校対象

さまざまな障がいがある方のためのプログラムです。ヒトデやナマコ、ヤドカリなどの磯の生き物やサメ・エイなどに直接ふれて体の形やつくりを観察し、生き物への親しみを深めます。

その他にもさまざまなプログラムを用意しています。詳しくは4~5pの「対象別団体プログラム一覧表」をご覧ください。

タマカエルウオ



団体プログラムの利用方法

水族園の見学を有意義にするための団体プログラム。次の要領でご利用ください。

1. 対象となる団体
 - 学習目的で来園される幼稚園や学校など
 - ※学校団体以外の利用についてはご相談ください

2. 利用に当たっての条件
 - 1) 実施できるのは、ゴールデンウィークや夏休みなどの繁忙期以外の平日のみ
 - 2) 天候に関わらず来園予定であること
 - 3) 水族園の滞在が2時間以上であること
 - 4) 引率の先生が同伴すること

3. プログラム申込み完了までの流れ
 - 1) (来園2週間以上前) 電話またはご来園により実施するプログラム内容の相談
 - 2) 団体入園の事前手続き (P.●をご覧ください)
 - 3) 「団体プログラム受付完了書」をFAXで受け取って申込み完了

4. プログラムの内容について
 - 1) メニューにないプログラムをご希望の場合は別途ご相談ください
 - 2) メニューに記された「人数」は1回あたりの対象人数ですので、それ以上の人数の場合は数回に分けて実施いたします
 - 3) 到着が大幅に遅れた場合は、プログラムを実施できない場合があります。余裕のあるスケジュールでお申し込みください

5. 団体プログラムの申込みについて

団体プログラムの利用を希望される場合は、**来園の2週間前までに、ご担当の先生からお電話もしくは直接ご来園の上、ご相談、お申込みください。**旅行代理店など、代理の方からのご相談はお受けできません。

団体プログラムに関する問い合わせ先

葛西臨海水族園 教育普及係解説スタッフ 電話：03 (3869) 5152 (代表)